

表 2020年大統領選挙の民主党候補者および世論調査支持率

名前		モンマス大学 11月世論調査 支持率(%)	年齢 (歳)	政治経験年数 (年)	第5回候補者 討論会参加 予定者(注1)	現職・前職	SNSなどで言及した主な項目
1	ジョー・バイデン	23	76	44	○	オバマ政権当時の副大統領	教育制度、ヘルスケア
2	エリザベス・ウォレン	23	70	10	○	現連邦上院議員(マサチューセッツ州)	企業政策、経済格差、ヘルスケア
3	バーニー・サンダース	20	78	38	○	現連邦上院議員(バーモント州)	ヘルスケア、企業政策
4	ピート・ブッティジェッジ	9	37	17	○	現インディアナ州サウスベンド市長	経済格差、外交政策
5	カマラ・ハリス	5	55	16	○	現連邦上院議員(カリフォルニア州)	マイノリティー差別、教育制度、賃金格差
6	コーリー・ブッカー	3	50	17	○	現連邦上院議員(ニュージャージー州)	司法制度、マイノリティー差別
7	アンドリュー・ヤン	3	44	1年未満	○	起業家(ニューヨーク出身)	経済格差、経済政策
8	エイミー・クロブチャー	2	59	12	○	現連邦上院議員(ミネソタ州)	インフラ整備、選挙制度
9	トム・スタイヤー	1	62	1年未満	○	慈善事業家、NextGen Climate創業者(ニューヨーク出身)	企業活動の改善
10	マイケル・ベネット	1未満	54	9		現連邦上院議員(コロラド州)	ヘルスケア、税制
11	ステーブ・ブロック	1未満	53	10		現モンタナ州知事	財政改革
12	タルシ・ガバード	1未満	38	17	○	現連邦下院議員(ハワイ州)	外交政策、企業政策
13	マリアンヌ・ウィリアムソン	1未満	66	5		作家(カリフォルニア州下院議員立候補経験有り)	家庭問題、外交政策
14	フリアン・カストロ	0	45	18		オバマ政権当時の住宅都市開発長官	選挙制度、マイノリティー差別
15	ジョン・ディレイニー	0	56	6		元連邦下院議員(メリーランド州)	ヘルスケア、経済政策、内政問題
16	ジョー・セスタク	0	67	4		元ペンシルベニア州下院議員	気候変動、社会変革
17	ウェイン・メッサム	—	45	8		現ミラマー市長(フロリダ州)	学生ローン免除
18	ティム・ライアン	—	46	19		現連邦下院議員(オハイオ州)	雇用創出

(注1) 第5回候補者討論会参加予定者は11月6日時点。11日13日に確定。

(注2) エリック・スワルウェル、マイク・グラベル、ジョン・ヒッケンルーパー、ジェイ・インスリー、セス・モルトン、キルステン・ジリブランド、ビル・デブラシオ、ベト・オルークの各氏は撤退を表明。

(出所) 各種報道を基にジェトロ作成